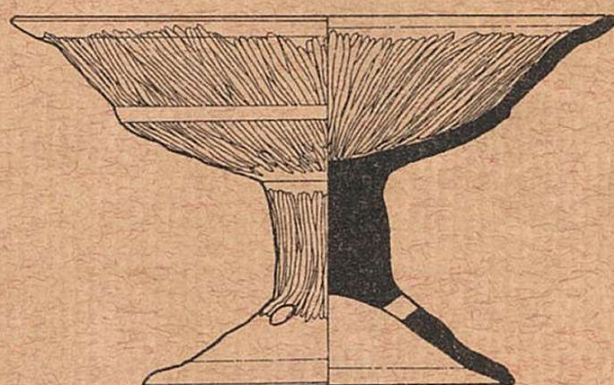


大阪文化財センター調査報告集Ⅲ

文化財調査報告集'75(I)

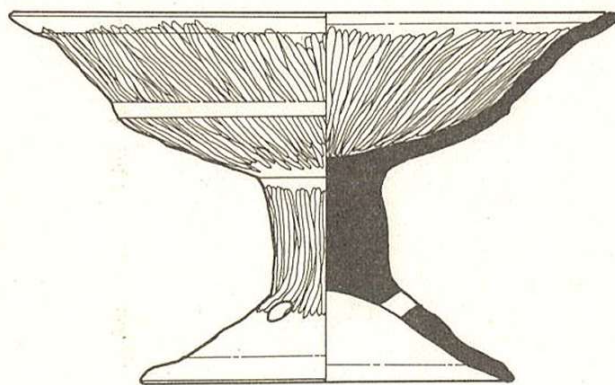


財団法人 大阪文化財センター



大阪文化財センター調査報告集Ⅲ

文化財調査報告集'75(I)



財団法人 大阪文化財センター



は し が き

財団法人 大阪文化財センター

理事長 加藤 三之雄

大阪文化財センター調査室に於ける昭和50年度の調査事業は、埋蔵文化財の試掘調査を7件、分布調査を2件実施いたしました。それぞれの調査は開発主体者の依頼を受けて実施したもので、開発工事が予定されている地域であります。従いまして調査も遺跡の実態を把握するための基礎資料を整えることを主たる目的にしたものであります。

それぞれの遺跡は、大阪府教育委員会との協議を経ていずれ本調査や開発工事が実施され、地上に痕跡を止め得なくなると予想されるものであります。遺跡が調査後破壊されるといった行政処置を受ける場合、できるだけ公開性を旨とすべきものでありましょう。かかる意味で大阪文化財センター調査室では、調査報告集を公刊してまいりましたが、このたび昭和50年度実施調査の報告集を刊行するはこびとなりました。大方の批判を望むものであります。

昭和51年5月

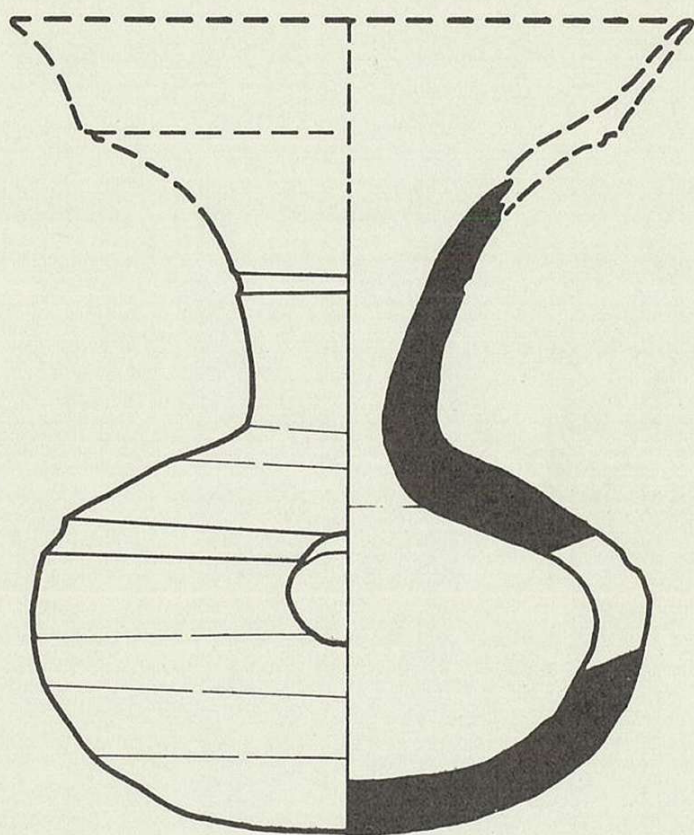
文化財調査報告集 '75

目 次

1. 大阪瓦斯河内ラインガス導管埋設予定地
内久宝寺遺跡、城山遺跡試掘調査報告書
2. 日本住宅公団鈴の宮団地開発計画に伴う
蜂田鈴の宮遺跡発掘調査報告書
3. 寺門団地他 3 団地開発予定地内埋蔵文化
財試掘調査報告書
4. 美原町真福寺所在遺跡試掘調査報告書
5. 国道 166 号線バイパスに関する第 2 回埋
蔵文化財予察調査報告書



大阪瓦斯河内ラインガス導管埋設予定地内 久宝寺遺跡、城山遺跡試掘調査報告書



昭和50年 6月

(表紙カットは久宝寺遺跡第17トレンチ出土の礎)

は し が き

財団法人 大阪文化財センター
理事長 加藤三之雄

中河内地方の平野部は、旧大和川と呼ばれる中小河川が繰り返した氾濫によって今日の姿を形成した三角州平野であります。

この平野に人類が生活を開始したのは、現在判明している限りでも弥生時代前期からであり、その歴史はすでに2000年を越えています。単に2000年の歴史とはいっても、その中で生きた人々の生活は、宝暦年間までは自然との果てることのない闘いの歴史でもあったのです。自然はこの様に過去の人々を苦しめた反面、過去の人々の生活を大地に刻みつけて残すこともしてくれました。

したがって、今我々が、この河内平野を現代に生きる人々、未来の人々のために利用しようとする時には、過去の人々の努力を十分に理解し、彼らの残した遺産の上に、より発展的な形で開発行為を行なわなければなりません。

ここに報告する埋蔵文化財試掘調査は、河内平野に於ける埋蔵文化財の基礎的データを集めんがために行なったものであり、それを基礎に、より発展的にこれらの文化財を継承しようとするものであります。

最後に、調査に積極的な理解をいただいた大阪瓦斯株式会社の関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、悪条件の中、調査業務に従事された関係者各位に感謝する次第です。

昭和50年6月

例 言

- 1) 本冊子は、財団法人大阪文化財センターが、大阪瓦斯株式会社の委託を受けて実施した河内ラインガス導管埋設予定地内埋蔵文化財試掘調査の報告書である。
- 2) 調査に要した費用は、全額大阪瓦斯株式会社が負担した。
- 3) 調査は、財団法人大阪文化財センター業務課調査室が担当し、昭和50年5月16日から、同6月9日までの間、現地に於ける発掘調査を実施し、以降6月30日まで、出土した遺物等の整理、図面の作製等を行なった。
- 4) 現地調査は、調査室長中西靖人の指示の下、主任国乗和雄が担当し、調査員杉本二郎、寺川史郎、赤木克視がこれを補助した。また整理作業は、同じく中西、国乗が担当し、山崎博が援助した。
- 5) 本冊子の執筆は、中西靖人、国乗和雄が当り、図版は国乗和雄が作製した。

目 次

はしがき

例 言

〔Ⅰ〕 調査に至る経過	1
〔Ⅱ〕 調査の方法	2
〔Ⅲ〕 調査の結果	2

図版目次

- 図版一 久宝寺遺跡トレンチ断面
- 図版二 久宝寺遺跡トレンチ断面
- 図版三 城山遺跡と久宝寺遺跡の試掘範囲
- 図版四 城山遺跡トレンチ位置図
- 図版五 久宝寺遺跡トレンチ位置図
- 図版六 城山遺跡トレンチ断面実測図
- 図版七 久宝寺遺跡トレンチ断面実測図

挿図目次

- 第1図 掘削作業風景
- 第2図 城山遺跡No.2 トレンチの竹製暗渠
- 第3図 実測作業風景

〔I〕 調査に至る経過

大阪瓦斯株式会社が埋設を計画している河内ラインガス導管は、主要地方道大阪中央環状線に平行するものである。

この中央環状線は、中河内に於ける低湿泥地の遺跡のメッカとして、最近注目を集めているところであり、これらの遺跡の詳細も序々に明らかになりつつあるが、沖積平野という条件もあって、埋没深度、遺跡の範囲等については不明な点が多いところである。

したがって、ガス管理設工事に先立って、予定路線内の埋蔵文化財に対する確認作業の必要性について説明及び指導を大阪府教育委員会から受けた大阪瓦斯株式会社は、試掘調査を実施し、遺跡の有無を確認することに同意し、この調査を大阪府教育委員会を介して財団法人大阪文化財センターに依頼したのである。

この依頼を受けて、大阪瓦斯株式会社と財団法人大阪文化財センターは、大阪市平野区长吉出戸町地区について昭和50年4月30日付で、また、八尾市西久宝寺地区については昭和50年5月19日付で委託契約を締結し、実際の事業に着手したのである。

なお、今回の調査で検出された八尾市西久宝寺地区に於ける久宝寺遺跡については、その取扱いについて大阪瓦斯株式会社は大阪府教育委員会及び八尾市教育委員会と再度協議をすることになっている。

〔Ⅱ〕 調査の方法

今回の調査は、巾 120cmのガス管理設予定地について、約50m間隔で 200cmのグリッドを設定し、道路面から人力で掘削する方法で層位毎に調査を実施した。掘削する深さは、大阪市平野区长吉出戸町地区が 240cm、八尾市西久宝寺地区が 220cmまでである。これは、河内ラインガス導管の埋設深度が各々 210cm、230cmであるため、それ以下については土層の攪乱される心配がないためである。



第1図 掘削作業風景

〔Ⅲ〕 調査の結果

城山遺跡

全部で10個のトレンチをあけたが、以前に当センターが行った近畿自動車道第1次発掘調査の時に確認された範囲のトレンチ（第1～3）で、土器の分布が認められたに止まった。

第1トレンチ

道路面下約 1.8mの青灰色微砂質粘土層から摩滅のひどい中世の土師質小皿片が出土したのみで遺構はみあたらなかった。

第2トレンチ

このトレンチも第1トレンチと同様に、道路面下約1.8mの赤褐色微砂層から摩滅の著しい奈良～平安時代のものと思われる小皿が出土した。



第2図 城山遺跡No.2トレンチの竹製暗渠

また道路面下約2.3mからは近世のものと思われる竹製の暗渠〔管部は直径約7cmの竹の節をくり抜き、接ぎ目は直径約18cm、高さ約17cmの木をくり抜いたもので接合してある〕が出土した。なおこの暗渠は現在も清水が流れており接合部付近からは長さ約11cm、直径3cmの丸木に〔出身水〕と読める焼印を押した木製品が検出された。

第3トレンチ

道路面下約1.6mから幅約30cmの厚さで堆積する青灰色粘土層より、鎌倉時代の瓦器と時期不明の土師器の小片が、各々1片出土したが、下層の青緑色粘土層では包含がみられなかった。

第4トレンチ～第10トレンチ

第7トレンチは工水埋設による削土の為、盛土下全域で新しく砂利が入れられ7～10に渡るトレンチでも、トレンチの東半分は工水埋設による砂利層になっていた。その結果4～6トレンチでは全域、7～10トレンチでは西半分を道

路面下 240cmまで掘り下げたが、全てのトレンチの、全ての層から、遺物遺構共発見できなかった。

久宝寺遺跡

第1トレンチ

中央環状線建設時における信号機及び水銀灯の地下ケーブル埋設の為、攪乱されていた。

第2トレンチ

1～2層に奈良時代の須恵器小片、平安時代の灰釉陶器、及び時期不明の土師器片が出土した。また3層中からは時期不明の土師器片が出土した。

第3トレンチ

中央環状線建設時以前の産業廃棄物埋土による攪乱があった。

第4トレンチ

出土土器は、摩滅が激しく、1層からは奈良時代の須恵器平瓶1片、そして時期不明の須恵器及び土師器、中世の陶質土器が出土した。また2層中からは奈良時代の土師器片、時期不明の須恵器及び土師器片、中世以降と思われる瓦器が出土した。

第5トレンチ

2層から古墳時代、及び奈良時代の土師器と須恵器、時期不明の土師質土器片が出土した。

第6トレンチ

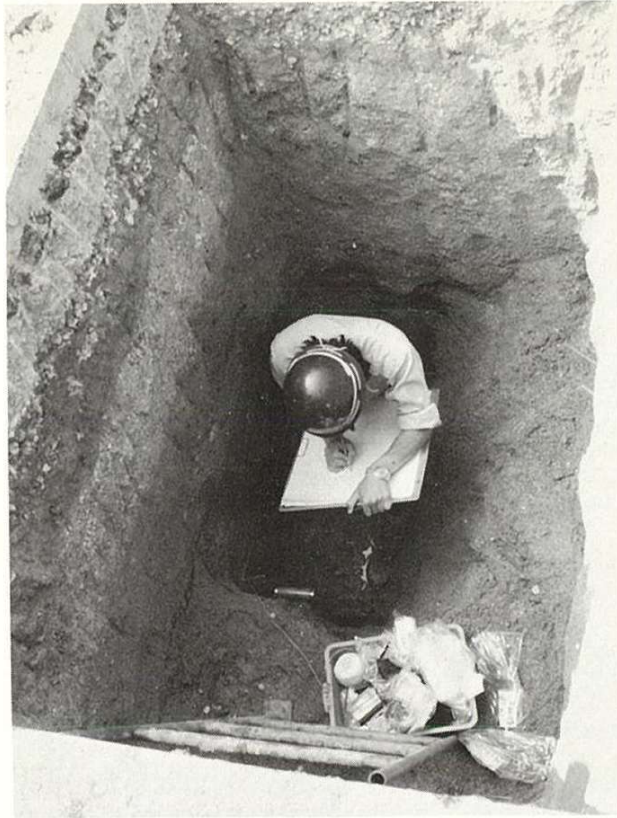
歩道面より 220cm掘り下げたが遺物は発見されなかった。

第7トレンチ

1～2層からは時期不明の土師器小片が検出され、5～6層では古墳時代前期の庄内式甕が出土した。

第8トレンチ

1層及び2層では古墳時代の須恵器、古墳～奈良時代の土師器と高台付の碗が出土し、5層からは古墳時代の須恵器の甕片、6層からは摩滅の著しい土師



第3図 実測作業風景

器片が出土した。

第9トレンチ

1～2層からサヌカイト小片、及び土師器小片、2～3層では時期不明の弥生式土器、土師器片が出土し、4層からは庄内式の甕と庄内式あるいは布留式と考えられる土器片が出土した。なお2～3層の弥生式土器は、著しい摩滅状態より遠方からの流入と考えられる。

第10トレンチ

1～2層では土師質土器、中世陶質土器、3層からは弥生時代5様式の甕の小片、及び古墳時代の土師器壺片、その他土師器、須恵器数片が出土した。また4層からは古墳時代の土師器1片が検出された。

第11トレンチ

1～2層から時期不明の土師質土器、須恵器甕、3層中では古墳時代の須恵器甕が1片、土師器甕が1片出土した。

第12トレンチ

このトレンチは、大別して上層部では須恵器～近世陶器、下層部では古墳時代前期の布留式土器が出土した。詳細は1層から須恵器の甕と壺、布目古瓦、中世の土師質土釜、近世の染付陶器が出土し、4層及び5層からは古墳時代前期の布留式土師器の甕と青色のガラス製小玉（直径約4.5mm、厚さ約2mm）が出土した。

第13トレンチ

このトレンチは2層からのみ古墳時代の須恵器の甕と土師質土器小片がみつかった。

第14トレンチ

2層から須恵器2片と染付磁器碗、そして寛永通宝、近世の陶器製大国像、3層からは時期不明の土師器片が出土したが、包含層が薄く土器の摩滅が激しい所から他所よりの流入と考えられる。

第15トレンチ

まず1～2層では瓦質土器、土師質土器、瓦、染付磁器が出土し、4層からは時期不明の土師質土器、5層からは土師器がみつかった。全般に出土土器の摩滅が激しいことから流入遺物と考えられる。

第16トレンチ

15トレンチと同様に出土土器は摩滅が激しく細片が多い。1～2層からは須恵器片、土師器片、瓦質土器（三足が一片）、染付磁器、3層からは古墳時代の土師器壺、及び奈良時代の須恵器壺、土師器坏が出土した。また5層からは時期不明の土師器1片が出土した。

第17トレンチ

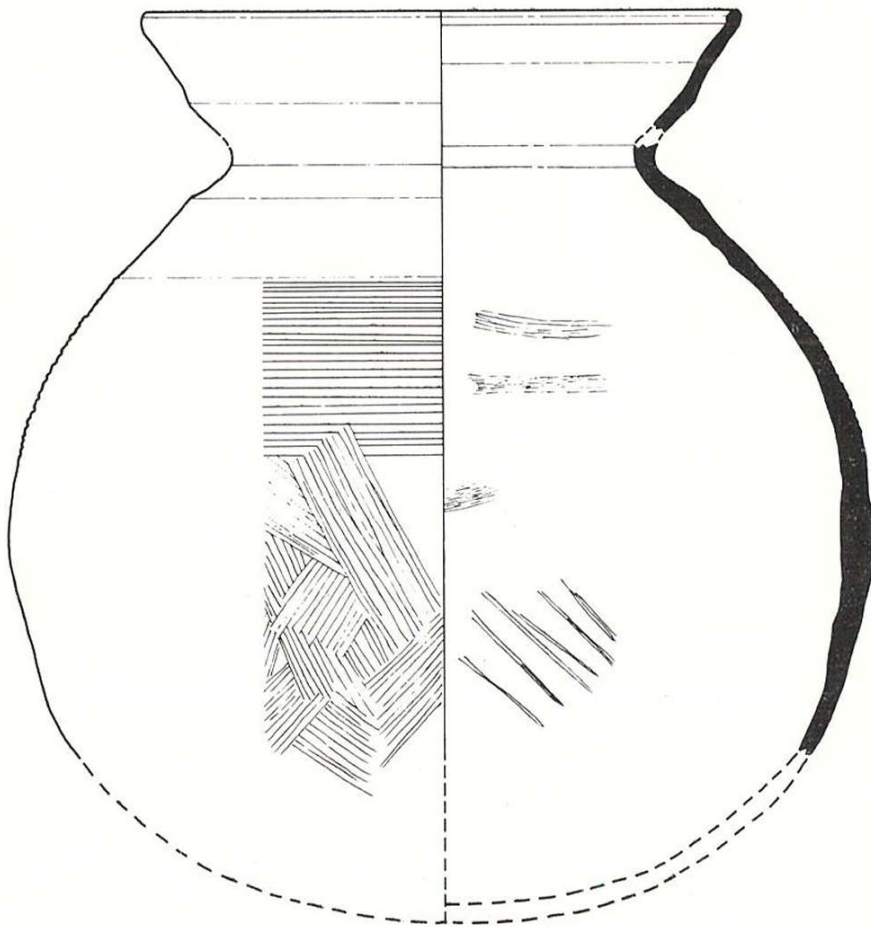
盛土下全層（1～6層）にわたり、土器を多量に包含し、その摩滅は比較的少なく土器片も大きい。1層からは古墳時代の須恵器甕、奈良時代及び時期不明土師器、2～3層では弥生前期の土器、後期の甕片、古墳時代の須恵器壺、平安時代の灰釉陶器瓶がみつき、4層からはほぼ完形に近い6世紀後半の須恵器甕、同時期の土師器甕、そして古墳～奈良時代の土師器が出土した。また

トレンチ最下層の5～6層からは古墳時代の須恵器壺、甕、坏、飛鳥時代の須恵器、古墳～奈良時代の鍋、碗、羽釜、高坏、甑などが出土した。

第18トレンチ

このトレンチも17トレンチ同様に全層で土器を検出したが、摩滅が比較的激しい。1～2層からは奈良時代の土師器、平安時代末期の瓦器碗、時期不明の須恵器、3層からは奈良時代の須恵器坏蓋、平安時代の灰釉陶器瓶、時期不明の土師器、4層では古墳時代の須恵器及び土師器の高坏が出土した。

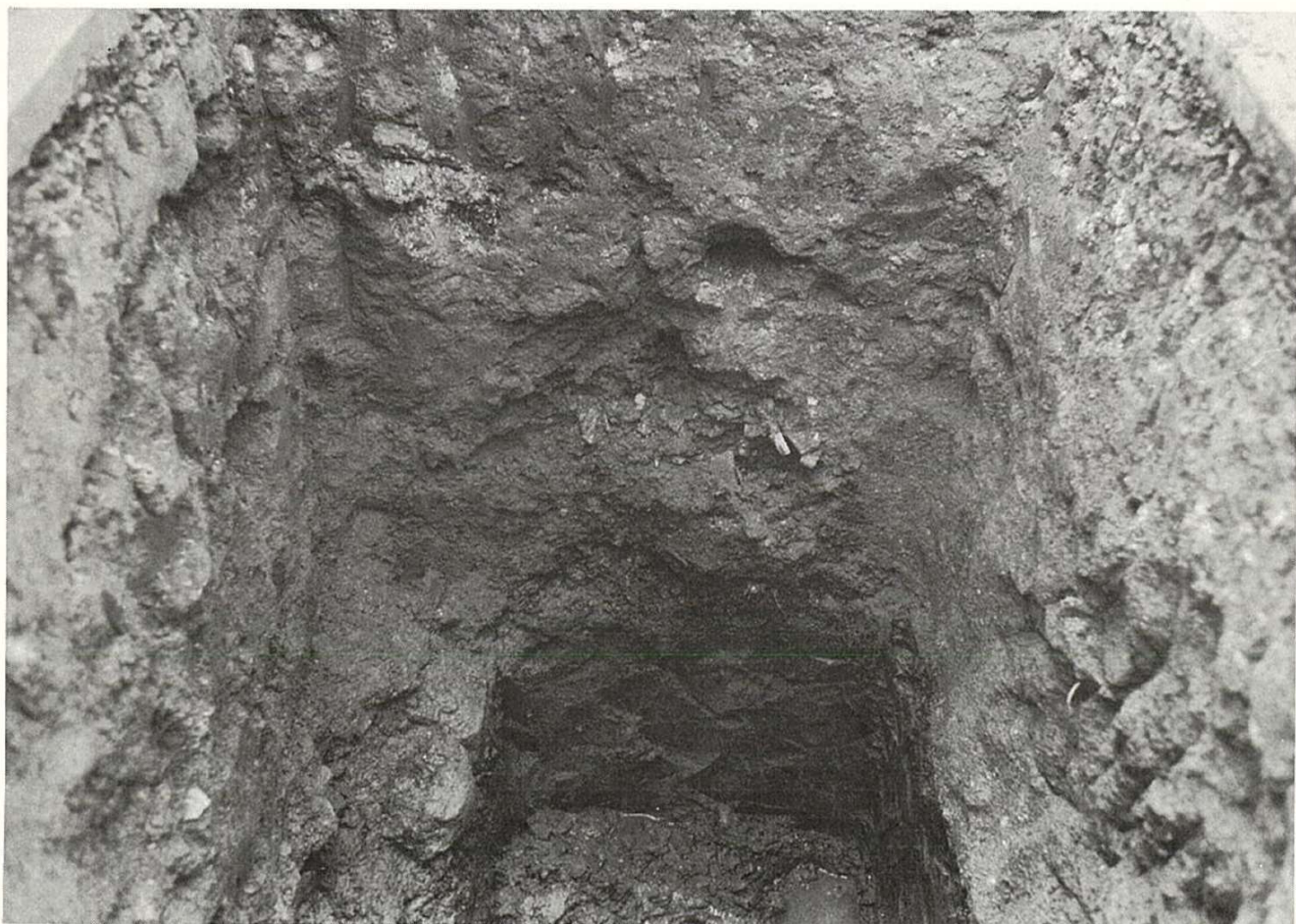
図版



久宝寺遺跡、第12トレンチ出土布留式土器



久宝寺No.5 トレンチ



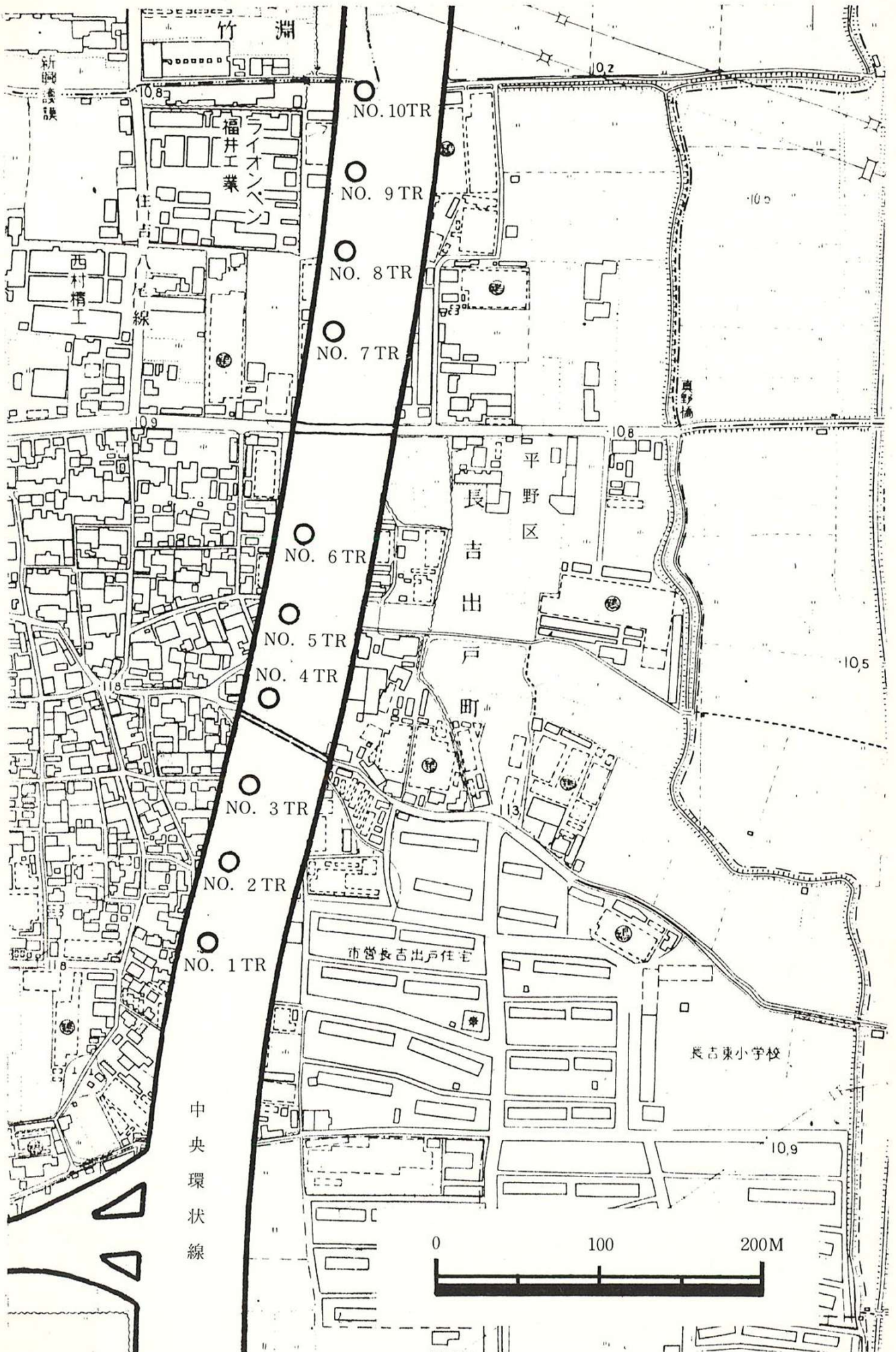
久宝寺No.2 トレンチ



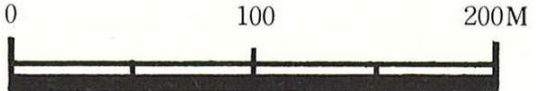
久宝寺No.12トレンチ



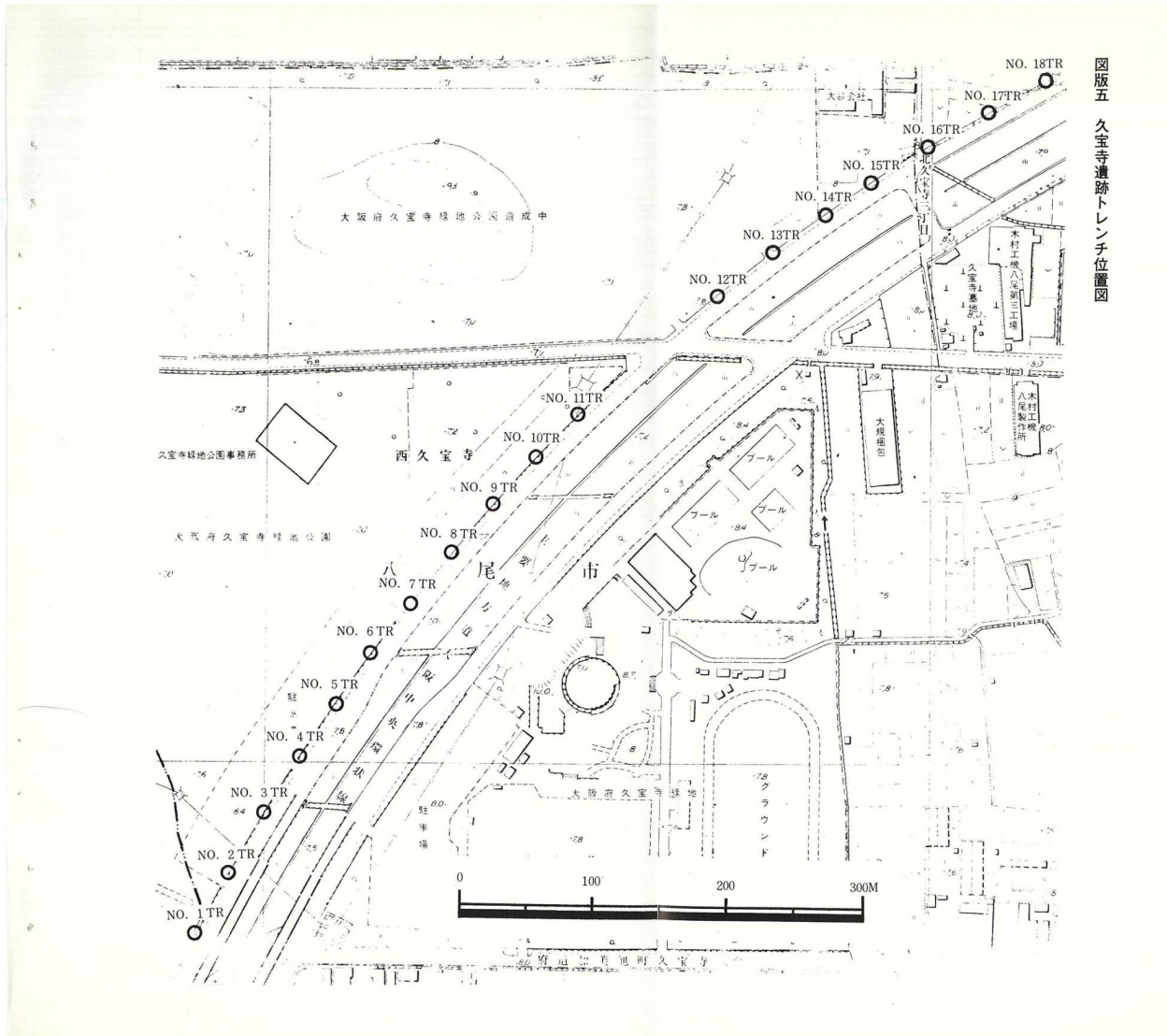
久宝寺No.15トレンチ

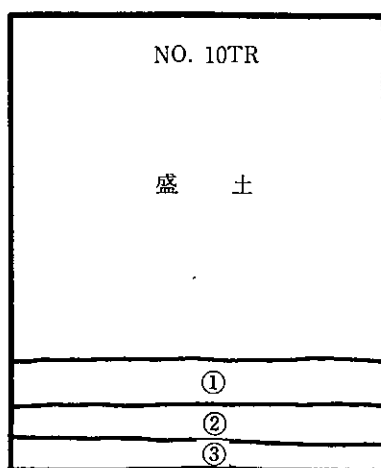
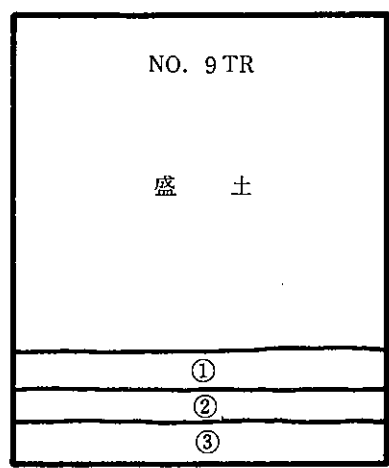
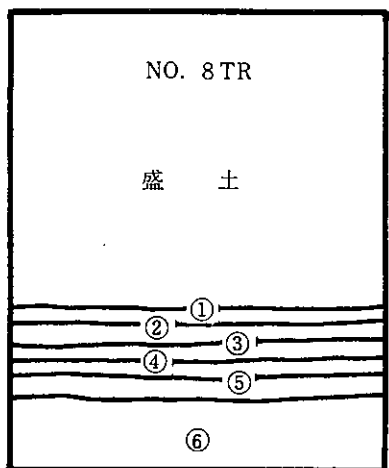
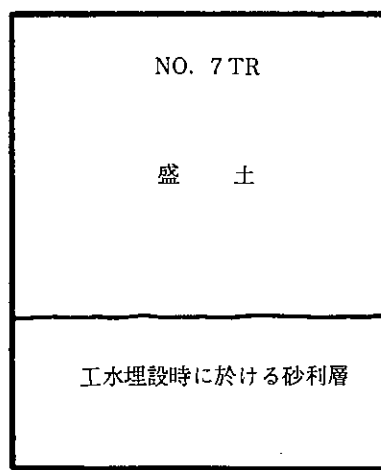
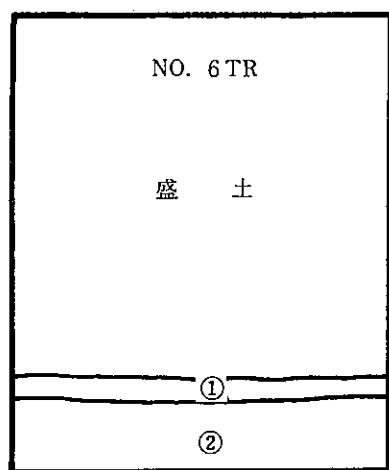
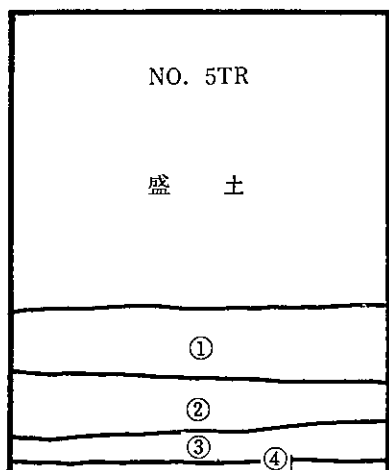
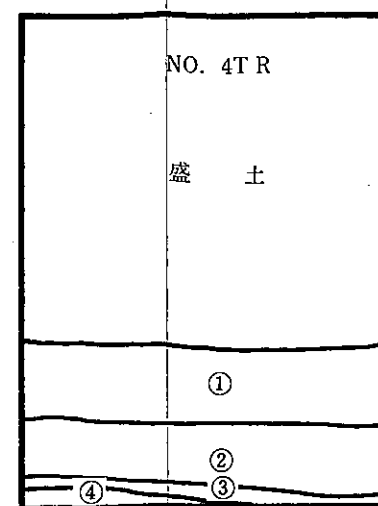
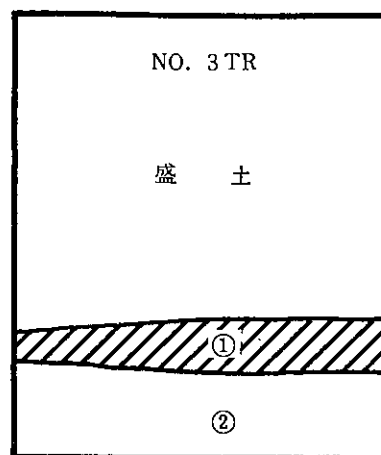
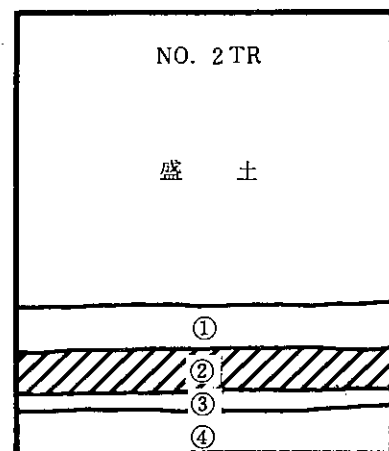
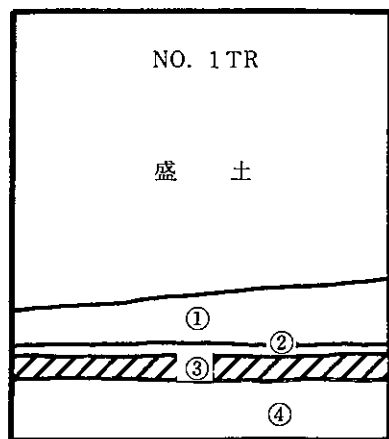


中央環状線



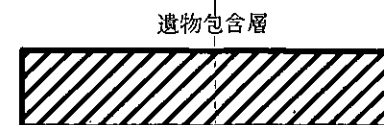
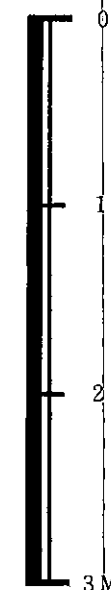
図版五 久宝寺遺跡トレンチ位置図

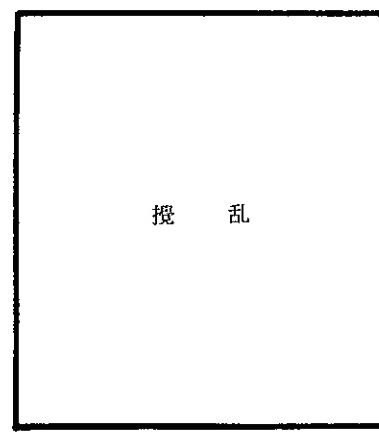




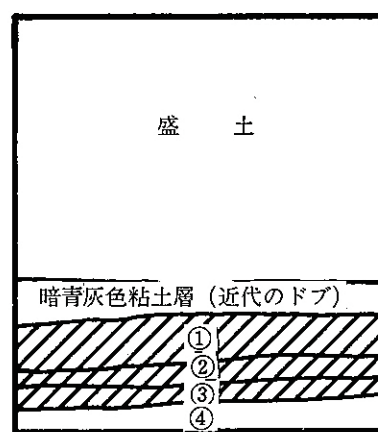
城山遺跡

- NO. 1 TR
 ①茶褐色粗砂層
 ②赤茶褐色微砂質粘土層
 ③青灰色微砂質粘土層
 ④青灰色砂層（一部に粘土を含む）
- NO. 2 TR
 ①灰茶褐色粘質土層（砂利混り）
 ②赤褐色微砂層（砂利混り）
 ③赤茶褐色粘土層
 ④青灰色粘土層
- NO. 3 TR
 ①青灰色粘土層
 ②青緑色粘土層
- NO. 4 TR
 ①灰青緑色微砂層
 ②茶褐色砂層
 ③灰色微砂層（鉄分が混る）
 ④茶褐色砂利層
- NO. 5 TR
 ①黄茶褐色微砂層
 ②茶褐色砂層（砂利が混る）
 ③灰色微砂層（鉄分を含む）
 ④茶褐色砂利層
- NO. 6 TR
 ①黒色砂質粘土層
 ②青灰緑色砂質粘土層
- NO. 7 TR
 工水埋設時に於ける攪乱
- NO. 8 TR
 ①青灰色砂質粘土層
 ②茶褐色砂層
 ③赤茶褐色粘質土層
 ④青灰色茶色混り粘土層
 ⑤茶灰色砂層
 ⑥青灰色茶色混り粘土層
- NO. 9 TR
 ①暗灰褐色粘質土層（鉄分を含む）
 ②灰色茶色混り粘土層
 ③暗青灰色粘土層
- NO. 10 TR
 ①灰茶褐色粘質土層
 ②暗灰褐色粘土層（鉄分を含む）
 ③青灰色粘土層

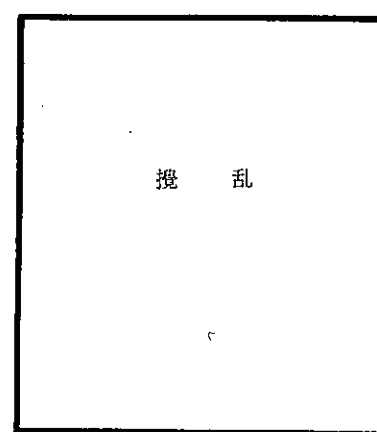




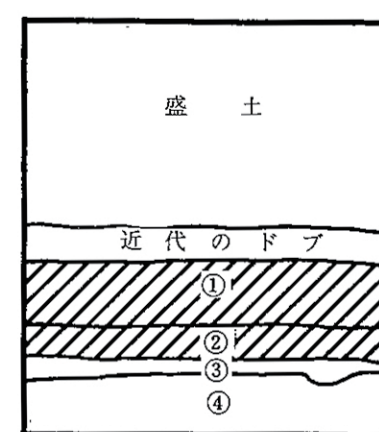
NO. 1 TR



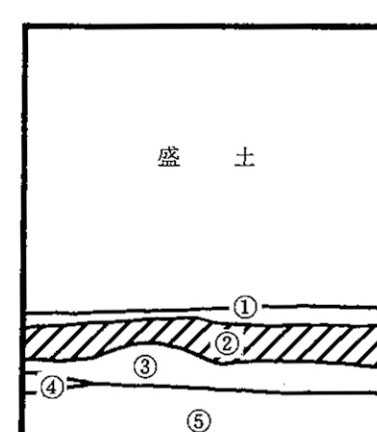
NO. 2 TR



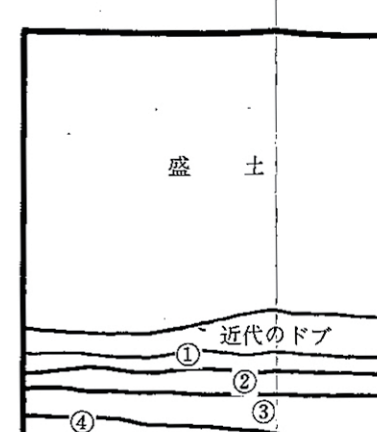
NO. 3 TR



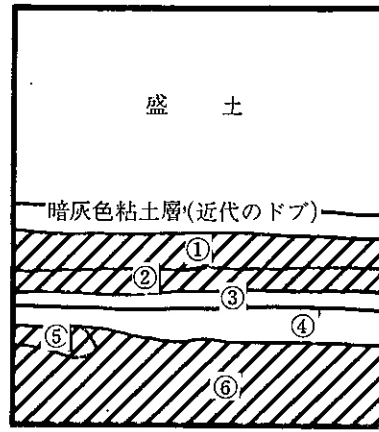
NO. 4 TR



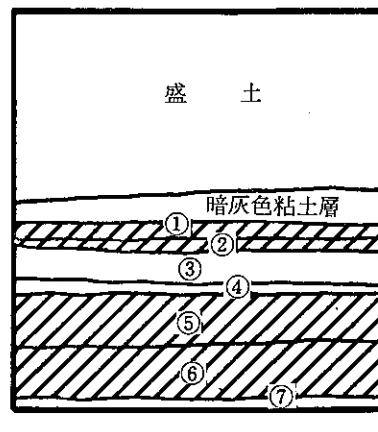
NO. 5 TR



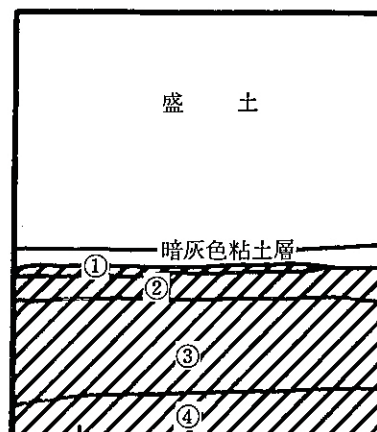
NO. 6 TR



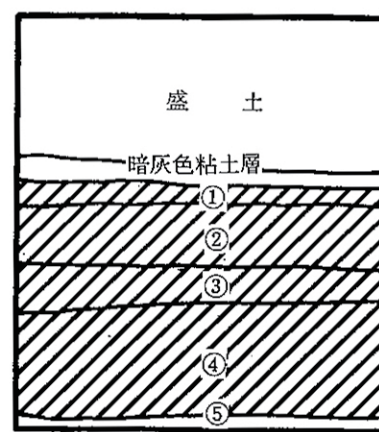
NO. 7 TR



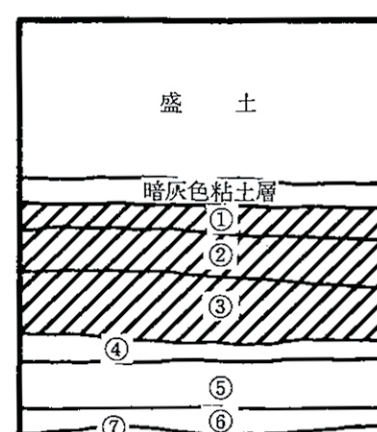
NO. 8 TR



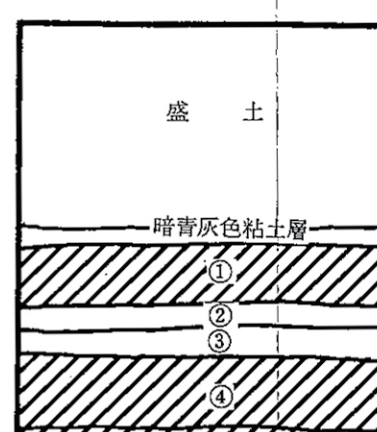
NO. 9 TR



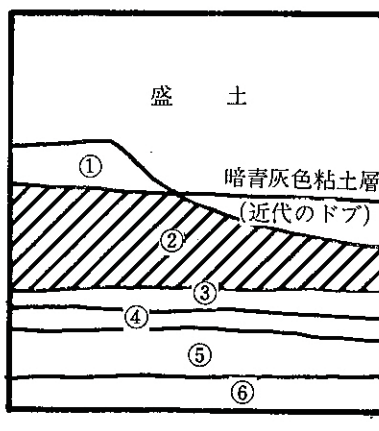
NO. 10 TR



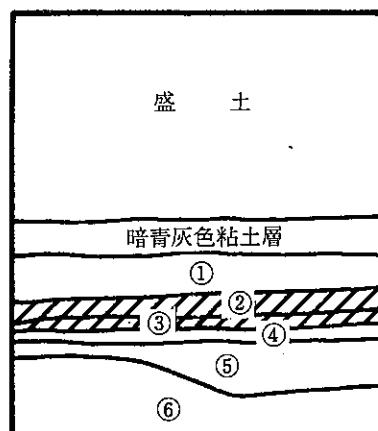
NO. 11 TR



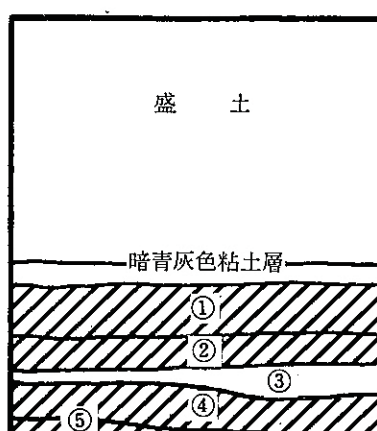
NO. 12 TR



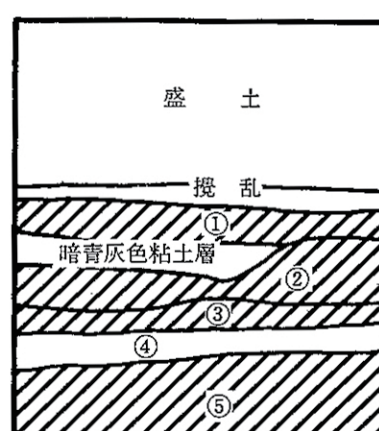
NO. 13 TR



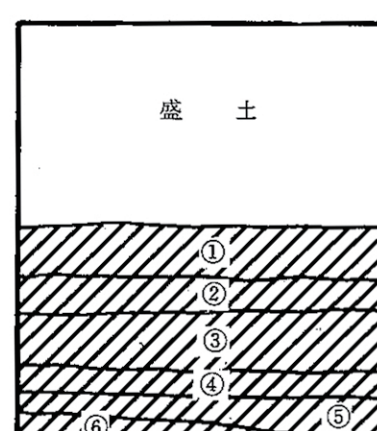
NO. 14 TR



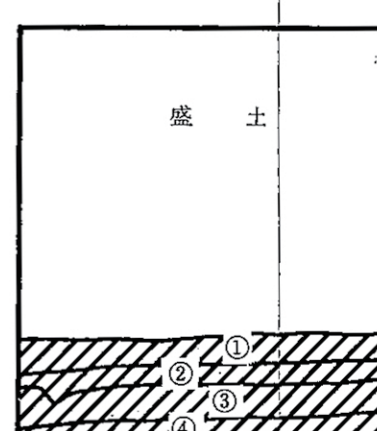
NO. 15 TR



NO. 16 TR



NO. 17 TR



NO. 18 TR



遺物包含層



久宝寺遺跡

- NO. 1 TR
全層掘乱後の盛土
- NO. 2 TR
①青灰色(茶褐色混り)粘質土層
②淡青灰色(茶色混り)砂質粘土層
③黄茶褐色微砂質粘土層
④青灰色(茶色混り)微砂層
- NO. 3 TR
全層掘乱後の盛土
- NO. 4 TR
①青灰色(茶褐色混り)粘質土層
②茶褐色砂質粘土層
③茶褐色土層
④茶褐色砂質土層
- NO. 5 TR
①灰色粘土層
②灰黄色粘土層
③黄灰褐色粘土層
④灰色(茶色混り)粘質土層
⑤灰色(一部茶混り)微砂層
- NO. 6 TR
①暗茶灰褐色粘土層
②灰色(茶色混り)粘土層
③青灰色微砂層
④灰色粘土層
- NO. 7 TR
①青緑灰色粘土層
②黄灰褐色粘質土層
③灰色粘質土層
④淡茶褐色砂層
⑤茶褐色粘質土層
⑥灰褐色粘土層
- NO. 8 TR
①灰褐色(茶混り)粘質土層
②灰褐色(茶混り)砂層
③赤茶褐色砂層
④灰色粘質微砂層
⑤赤茶褐色砂層
⑥暗青灰色粘土層
⑦黒灰色微砂層
- NO. 9 TR
①褐色砂層
②灰色粘質土層
③灰色(茶褐色混り)粘質土層
④茶褐色粗砂層
- NO. 10 TR
①茶褐色土層
②灰茶褐色土層
③暗茶褐色土層
④灰白色微砂層
⑤黄茶褐色微砂層
- NO. 11 TR
①茶褐色土層
②暗茶褐色土層
③黄茶褐色粘質土層
④灰色(茶色混り)粘土層
⑤灰色(一部茶混り)微砂層
- NO. 12 TR
①暗茶褐色土層
②茶褐色(暗茶褐色混り)土層
③黄茶褐色土層
④灰褐色(微砂混り)砂層
⑤灰褐色粗砂層
- NO. 13 TR
①暗茶褐色土層
②茶褐色土層
③黄茶褐色土層
④灰褐色(微砂混り)砂層
⑤灰色粘土層
⑥暗灰色粘土層
- NO. 14 TR
①青灰色粘土層
②灰褐色粘土層
③茶褐色土層
④茶褐色(暗茶褐色混り)土層
⑤黄茶褐色土層
⑥灰色砂層
- NO. 15 TR
①茶褐色(灰色混り)土層
②茶褐色(暗茶褐色混り)土層
③灰色粘土層
④灰色(粘質微砂混り)砂層
⑤褐色粗砂層
- NO. 16 TR
①暗茶褐色土層
②茶灰褐色土層
③茶褐色土層
④茶褐色(微砂混り)砂層
⑤灰褐色粗砂層
- NO. 17 TR
①茶色砂質土層
②茶色粘質土層
③茶褐色粘土層
④濃茶褐色粘土層
⑤暗茶褐色粘土質土層
⑥暗灰色粘質砂層
- NO. 18 TR
①明茶褐色粘土層
②茶褐色粘土層
③茶褐色粘質微砂層
④暗茶褐色土層